

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#)

# プレスリリース

2020年
2019年
<b>2018年</b>
2017年
2016年

## 2018年

9月3日

「富士通SSLソリューションフォーラム2018」を開催

6月28日

役員人事について

6月18日

ランサムウェア専用対策ソフト「MBSD Ransomware Defender」を販売開始

5月29日

IoT/組み込み機器向けマルウェア対策「WhiteSec」Linux版を販売開始

5月8日

「SHieldMailChecker 誤送信防止」がSMTP接続でのメールセキュリティ機能を強化

---

4月4日

「第10回 ワークライフバランス大賞」優秀賞を受賞

---

4月2日

役員人事に関するお知らせ

---

3月2日

代表取締役人事について

---

2月21日

富士通SSLが「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定されました

---

1月19日

能楽協会主催「能楽フェスティバル2017-2020 『第3回シンポジウム』」において富士通のダイバーシティ・コミュニケーションツール「LiveTalk」を活用

---

2015年以前のプレスリリースは[旧ページ](#)をご確認ください。

[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > 「富士通SSLソリューションフォーラム2018」を開催

プレスリリース

2018年9月3日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

# 「富士通SSLソリューション フォーラム2018」を開催

～ デジタルテクノロジーでみらいを創る ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、2018年10月25日（木曜日）、10月26日（金曜日）の2日間、川崎市コンベンションホール（川崎市 武蔵小杉）にて、「デジタルテクノロジーでみらいを創る」をテーマにプライベートフォーラム「富士通SSLソリューションフォーラム2018」を開催します。

近年、情報社会に続く5番目の新しい社会 Society 5.0の実現が提唱されるなか、企業では、労働問題や少子高齢化などの社会的課題を解決するため、IoT、AI、ロボットなどデジタルテクノロジーを活用したイノベーションによる価値創出が急速に推進されています。

「富士通SSLソリューションフォーラム2018」では、Society 5.0を実現する働き方改革やセキュアな環境を支える最新のソリューションやサービスをデモ展示形式でご紹介します。また、働き方改革、セキュリティ等に精通した有識者を講師としてお迎えし、セミナーを実施します。

本フォーラムのご案内や事前お申し込みなどの詳細については、「富士通SSLソリューションフォーラム2018」 Webサイトをご覧ください。

## ■「富士通SSLソリューションフォーラム2018」開催概要

会 期
2018年10月25日（木曜日） 13時～17時 [受付 13時～16時30分] 2018年10月26日（金曜日） 10時～17時 [受付 10時～16時30分]
会 場
川崎市コンベンションホール （川崎市 武蔵小杉）
テーマ
デジタルテクノロジーで未来を創る
参加費
無料（事前参加申込制） [申し込み締切] 2018年10月19日（金曜日） 17時

「富士通SSLソリューションフォーラム2018」 Webサイト  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/about/resources/events/forum/>

### 【デモ展示】

未来のオフィスなど様々なシーンを想定した空間で最新のデジタルテクノロジーを体感いただけます。

### 【セミナー】

先進的な働き改革を率先するヤフー株式会社や、「Splunk」を活用したセキュリティ対策に取り組む株式会社ジャパンネット銀行、今年度当社と協業を開始したデジタルプロセスオートメーションを提供するペガジャパン株式会社など、有識者6名による講演を予定しています。

#### ■10月25日（木曜日）

13時40分～14時40分
「Yahoo! JAPANの働き方改革」  <div>ヤフー株式会社 取締役会長 宮坂 学氏</div>

15時10分～16時10分

「サイバー攻撃と戦う銀行 不正アクセス検知のノウハウ教えます」

株式会社ジャパンネット銀行  
IT統括部 サイバーセキュリティ対策室  
部長代理 小澤 一仁氏

■10月26日（金曜日）

10時40分～11時30分

「Pegaが実現するデジタル・プロセス改革」

ペガジャパン株式会社  
代表取締役社長 渡辺 宣彦氏

13時00分～13時50分

「最新デジタルテクノロジーが創り出す30年後のシンギュラリティの世界」

富士通株式会社  
常務理事 首席エバンジェリスト 中山 五輪男氏

14時20分～15時10分

「サイバーセキュリティ研究の最前線 –IoT機器の大規模感染から標的型攻撃まで–」

国立研究開発法人 情報通信研究機構  
サイバーセキュリティ研究所 サイバーセキュリティ研究室  
室長 博士（工学） 井上 大介氏

15時40分～16時30分

「2020年東京オリンピックにおけるサイバーセキュリティについて  
–平昌オリンピックでのサイバー防御経験を踏まえた提言–」

IGLOO SECURITY INC. 日本法人  
代表取締役 崔 正濬氏

（注）デモ展示、セミナーの内容は変更することがあります。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

# 報道関係者お問い合わせ先

---

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : [ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

# お客様お問い合わせ先

---

富士通SSLソリューションフォーラム2018事務局

E-mail : [ssl-forum@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-forum@cs.jp.fujitsu.com)

---

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



利用条件

個人情報保護ポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

富士通ホームへ

[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > [役員人事について](#)

## プレスリリース

2018年6月28日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

# 役員人事について

2018年6月27日に開催された第49回定時株主総会において、下記の役員人事を決定しましたのでお知らせします。

なお、当社関連会社の役員人事についても、株式会社SSLパワードサービスは、2018年6月28日開催の第13回定時株主総会により、また株式会社富士通SSLハーモニーは、2018年6月28日開催の第1回定時株主総会により、下記のとおり決定しましたので、あわせてお知らせします。

## 記

### 【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（2018年6月27日付）】

#### [選任]

代表取締役社長    土肥   啓介（重任）

取締役              仙田   健（重任）

取締役（非常勤）   砂田   敬之（重任）

取締役（非常勤） 飯島 淳一（重任）

監査役（非常勤） 若林 昭浩（新任）

[辞任]

監査役（非常勤） 山田 宏伸

---

【株式会社SSLパワードサービス（2018年6月28日付）】

[選任]

代表取締役社長 唐渡 直之（重任）

取締役 小林 正明（重任）

取締役 田代 文男（重任）

監査役（非常勤） 池之上 隆司

---

【株式会社富士通SSLハーマニー（2018年6月28日付）】

[選任]

代表取締役社長  
（非常勤） 仙田 健（重任）

取締役（非常勤） 唐渡 直之（重任）

取締役（非常勤） 梅原 裕一

監査役（非常勤） 池之上 隆司

---

報道関係者お問い合わせ先

---

# 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : [ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > ランサムウェア専用対策ソフト「**MBSD Ransomware Defender**」を販売開始

プレスリリース

2018年6月18日

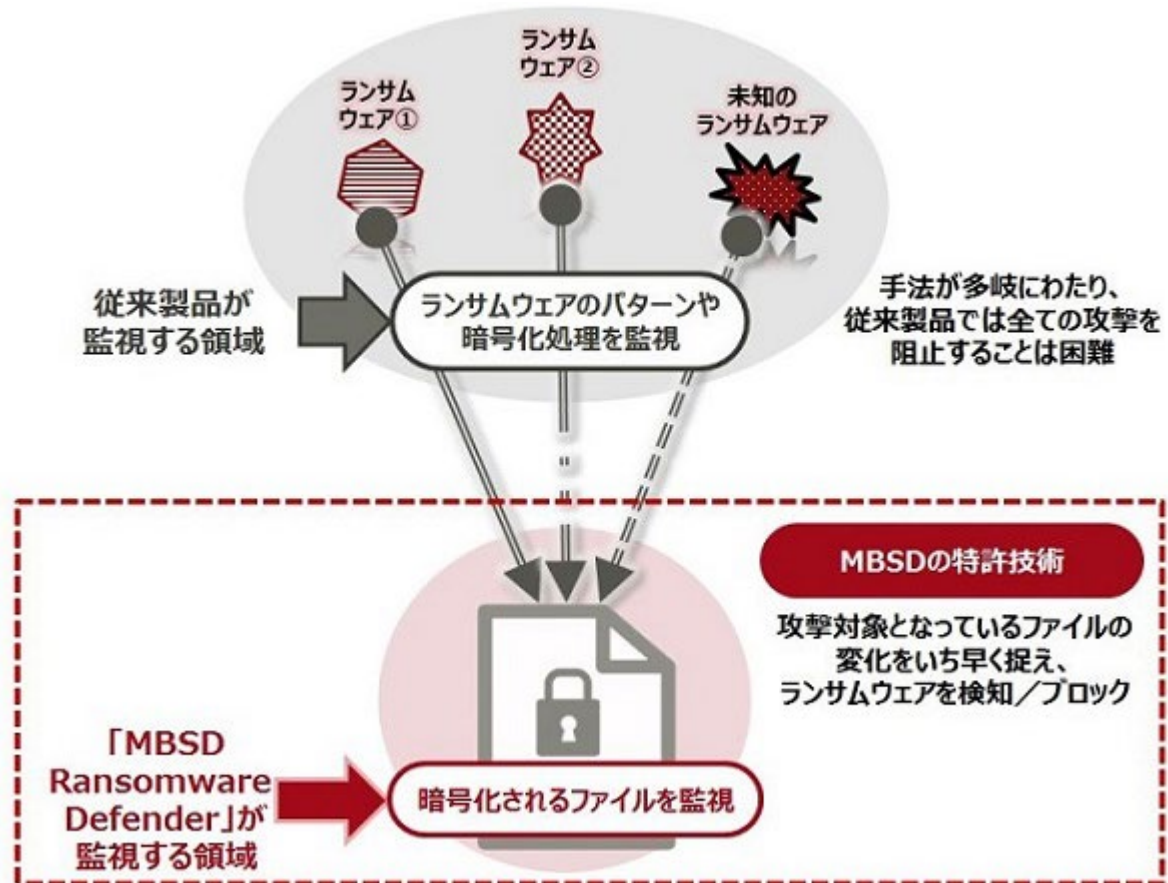
株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

# ランサムウェア専用対策ソフト 「**MBSD Ransomware Defender**」を 販売開始

～ ランサムウェア特有のファイルの変化に着目した新たな特許技術でブロック ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、三井物産セキュアディレクション株式会社（以下：MBSD）と販売契約を締結し、国産製品唯一の特許技術を搭載したランサムウェア専用対策ソフトウェア「**MBSD Ransomware Defender**（エムビーエスディ ランサムウェア ディフェンダー）」を2018年6月18日に販売開始します。

## [動作概要]



現在、情報資産を暗号化し身代金を要求するランサムウェアは、不特定多数にばらまく手法から攻撃対象を法人に絞りこむなど、その手口は日々進化しています。また、今年4月、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が公開した「情報セキュリティ10大脅威2018」（注1）でランサムウェアが2位に位置づけられたこともあり、企業や組織では高度なランサムウェア対策がこれまで以上に重要視されています。しかしながら、従来のセキュリティ対策製品のように定義ファイルによるパターンマッチングやふるまい検知による判断では、次々に出現する新種のランサムウェアや多岐にわたる暗号化手法に対する被害を阻止することは困難とされています。

「MBSD Ransomware Defender」は、MBSD社が特許取得済みの独自技術（注2）を搭載したランサムウェア専用の対策ソフトウェアです。従来のセキュリティ対策製品のようにパターンマッチングやふるまい検知で判断するのではなく、攻撃対象となるファイルの状態に着目する新たな検知技術を備えています。この新技術により、ふるまい検知技術等を回避する高度な攻撃に対しても、ファイルに対する操作から即座にランサムウェアを検知し、一つのファイルも暗号化されことなくブロックすることができます。また本製品は、他の主要なアンチウイルスソフト製品と同居が可能で、クライアントPCにインストールするだけで導入でき、短期かつ容易にランサムウェア対策を追加することができます。

当社は、MBSD社の独自技術と当社の豊富なエンドポイント製品のサポート経験を組み合わせることで、ランサムウェア対策を求めるすべてのお客様に安心安全な環境を提供します。さらに今後、当社のセキュリティプロフェッショナルがお客様の課題やニーズに合わせ、本製品の最適な導入をご支援する導入支援サービスの提供を予定しています。

## 【「MBSD Ransomware Defender」の特長】

### 1.“ファイルを一つも暗号化させない”新たな特許技術で、暗号化される前にブロック

ふるまい検知回避、ヒューリスティック検知回避、サンドボックス検知回避など検知回避技術を用いた巧妙なランサムウェアに対しても、最初の暗号化挙動のタイミングで攻撃を検知し、暗号化を完全にブロックすることができます。検知されたランサムウェアは即座に安全に隔離され、レポート／ログ管理画面でプロセスやパスを確認することができます。

### 2.パターンファイルレスで動作可能

パターンファイルを使用しない検知技術を備えており、定期的なパターンファイルのアップデートを必要とせずに次々に出現する新種のランサムウェアを検知することができます。インターネットに接続できないクローズド環境に対してもアップデートを意識する必要なく安心して導入することができます。

### 3.容易に導入可能

国産製品で日本語インターフェースを備え、クライアントPCにインストールするだけで、短期かつ容易に導入することができます。また、他の主要なアンチウイルスソフト製品と同居可能で、ランサムウェア対策のみを追加することができます。

## 【販売価格（税別）】

製品名	販売価格
「MBSD Ransomware Defender」	1ライセンス 4,800円／年

※ ボリュームディスカウントもございます。詳細はお問い合わせください。

※ 保守サポートを含みます。

## 【販売開始日】 2018年6月18日

## 【販売目標】 2年で3億円、8万ライセンス

## 【三井物産セキュアディレクション株式会社様からのエンドースメント】

この度、セキュリティ製品の運用・サポートに関する豊富な実績をお持ちである株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ様に「MBSD Ransomware Defender」のお取り扱いを開始いただいたことを心から歓迎致します。

三井物産セキュアディレクション株式会社は、富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ様との協業により、多くのお客様がランサムウェアによる金銭被害やシステムの停止などの脅威から解放されるよう「MBSD Ransomware Defender」を提供してまいります。

#### 【関連Webサイト】

- 「MBSD Ransomware Defender」製品ページ  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/mrd/>

#### 【注釈】

(注1) 「情報セキュリティ10大脅威2018」

2017年に発生した社会的に影響が大きかったと考えられる情報セキュリティにおける事案から、IPAが脅威候補を選出し、情報セキュリティ分野の研究者、企業の実務担当者など約100名のメンバーからなる「10大脅威選考会」が脅威候補に対して審議・投票を行い、決定されたものです。

(注2) MBSD社が特許取得済みの独自技術

ランサムウェアの検知および防御技術について2つの特許を取得。

[特許第5996145号、特許第 6219550号]

プロセスによって操作されるファイルの「暗号化される前」と「暗号化された後（のシミュレーション結果）」のファイル構造およびファイルの表層情報に着目し、本来変更が必要ない領域に変化が見られる場合には、正規の暗号化でないことを見極めた上でランサムウェアによる不正な暗号化と判断することを基本とした技術です。

#### 【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、53のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

#### 【三井物産セキュアディレクション株式会社について】 URL：<http://www.mbsd.jp/>

三井物産セキュアディレクション株式会社は、サイバーセキュリティの専門会社として、ペネトレーションテスト、Webアプリケーション/ネットワーク脆弱性診断等の各種診断サービス、マルウェア解析、統合ログ監視サービス等の高度なセキュリティ技術サービス、コンサルティングサービス等を提供し、日本有数の高度セキュリティ技術人材が多数在籍する企業です。

## 【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

## 報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : [ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

## お客様お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ [商品お問合せ窓口](#) >

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



MBSD Ransomware Defender詳細



利用条件

個人情報保護ポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

富士通ホームへ



ホーム > プレスリリース > IoT/組み込み機器向けマルウェア対策「WhiteSec」Linux版を販売開始

プレスリリース

2018年5月29日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

# IoT/組み込み機器向けマルウェア対策 「WhiteSec」Linux版を販売開始

～ 性能への影響を最小限に抑え、Linux搭載のIoT/組み込み機器を  
サイバー攻撃から保護 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、IoT/組み込み機器向けマルウェア対策ソフトウェア「WhiteSec（ホワイトセック）」のLinux版を2018年5月29日に販売開始します。

「WhiteSec」は、長年実績を積んできた当社開発のセキュアOS製品「FUJITSU Security Solution SHieldWARE（以下、SHieldWARE）」のサーバ要塞化技術を応用し、ゼロデイ攻撃（注1）など未知のマルウェアを防御するホワイトリスト実行制御機能等を搭載したIoT/組み込み機器向けのマルウェア対策ソフトウェアです。2017年12月にWindows版の販売を開始し、既に多くの引き合いを頂いています。

今回、IoT/組み込み機器のOSとして採用率の高いLinux版を提供することで、防犯カメラをはじめ、医療機器や検査装置、ロボット、ゲーム機など広範囲にわたる数多くのIoT/組み込み機器に導入いただけるようになりました。なお、「WhiteSec」Linux版は、必要な機能に絞り再設計したコンパクトなモジュールサイズやCPU負荷の少ない処理方式により、ハードウェアリソースの少ないLinux搭載IoT/組み込み機器の性能への影響を最小限に抑えています。

また、Linuxの各種ディストリビューションやカスタマイズされたLinux環境への導入が可能な「ポーティングサービス」の提供や、耐用年数の長いIoT/組み込み機器に合わせた保守サービス期間延長の個別対応により、同製品を安心して導入いただけます。

当社は、「WhiteSec」Linux版の提供により、今後さらなる拡大が予測されるIoT機器や組み込み機器へのサイバー攻撃を防御し、安心安全な社会の実現に貢献してまいります。

## 【背景】

あらゆるモノがインターネットにつながるIoTは、交通や医療、家電、工場など幅広い分野でさらなる進展が予測される一方で、設定不備など脆弱性を内在した防犯カメラやルータなどのIoT機器がマルウェアに感染し、大規模サイバー攻撃の踏み台にされるケースが近年多数発生しています。また、IoT機器や組み込み機器は、運用形態やデバイスの特性上セキュリティパッチをすぐに適用できないケースが多く、脆弱性が放置されやすいといった問題も指摘されており、対策が急がれています。

当社は、急務となっているIoT/組み込み機器のマルウェア対策のために、2004年の提供開始から機能強化を重ね実績を積んできたサーバ向けOSセキュリティ強化ツール「SHieldWARE」のセキュアOS技術を応用し、「WhiteSec」を新たに開発しました。

IoT機器や組み込み機器のOSには、WindowsやLinuxが広く採用されており、Windows版の「WhiteSec」は、2017年12月に販売を開始しました。今回、「WhiteSec」のお問い合わせの中で多くのお客様から頂いたLinux対応へのご要望にお応えするために、「WhiteSec」Linux版の提供を開始します。

## 【「WhiteSec」Linux版の特長】

### 1. ホワイトリスト実行制御で未知のマルウェアの活動をブロック

あらかじめホワイトリストに登録されたプログラムのみ実行を許可するため、新種のマルウェアが侵入した場合でもマルウェアの実行を抑止します。ウイルス定義ファイルが不要なため、定義ファイルの更新が困難な組み込み機器をマルウェアから守ります。

### 2. 機器の性能に影響を与えないセキュリティ対策

マルウェア対策では、改ざんされたプログラムの実行を防ぐために、毎回実行時に改ざんチェックを行う方式が一般的ですが、改ざんチェック処理の負荷が機器性能に大きな影響を与えます。

「WhiteSec」は、セキュアOS技術により改ざんチェック処理が不要となりセキュアかつ高速にプログラムを実行できます。

また、ハードウェアリソースの少ないLinux搭載IoT/組み込み機器で動作させるために、必要な機能に絞り再設計したことで、数百KBとコンパクトなモジュールサイズを実現しました。

### 3. 保守サービスの個別延長（オプションサービス）

長い耐用年数が想定されるIoT/組み込み機器に合わせて、お客様のご要望に応じた保守サービス期間の延長に個別で対応します。

### 4. 「ポーティングサービス」／「セキュリティ設計コンサルサービス」（オプションサービス）

Linuxの各種ディストリビューションやお客様独自のLinux環境で動作させるために「WhiteSec」をカスタマイズする「ポーティングサービス」を提供します。

また、機器への「WhiteSec」導入の支援とシステム全体のセキュリティ対策を支援する「セキュリティ設計コンサルサービス」を提供します。

【販売価格】 個別見積

※デバイス個数や利用形態などお客様に合わせた柔軟な価格設定でご提供します。

【販売開始日】 2018年5月29日

【販売目標】 5年間で10億円

【関連Webサイト】

- 「WhiteSec」  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/whitesec/>
- IoT/組み込み機器向けマルウェア対策の自社開発ソフト「WhiteSec」を販売開始  
(2017年12月25日発表)  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2017/1225.html>

【注釈】

(注1) 「ゼロデイ攻撃」

ソフトウェアの脆弱性が発見されてから修正プログラムなどの対策が提供されるまでの間に行われる攻撃。

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、53のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

## 報道関係者お問い合わせ先

---

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail：[ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

# お客様お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ [商品お問合せ窓口](#) >

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



WhiteSec詳細



利用条件

個人情報保護ポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

富士通ホームへ

2018年5月8日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

## 「SHieldMailChecker 誤送信防止」が SMTP接続でのメールセキュリティ機能を強化

～ 同姓の宛先への誤送信や添付ファイルの暗号化忘れに対する情報漏えい対策を強化 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（本社：川崎市中原区小杉町、代表取締役社長：土肥 啓介）は、SMTP接続のメール環境向けにメールセキュリティ機能を強化したメール誤送信防止製品「FUJITSU Security Solution SHieldMailChecker（フジツウ セキュリティ ソリューション シールドメールチェッカー）誤送信防止」を2018年5月8日に販売開始します。

「SHieldMailChecker 誤送信防止」は、メール送信時に送信先アドレスや添付ファイルの再確認を促すことで、うっかりミスによるメールの誤送信を未然に防止する製品です。パソコンにインストールするだけで簡単に導入でき、グループウェアのMicrosoft Exchange Server（Microsoft Exchange Online）とSMTP接続の2つのメール環境に対応しています。

今回の機能強化は、Exchange Server向けとして提供している「送信確認画面の送信相手の所属部署表示機能」と「添付ファイルの自動暗号化機能」を、SMTP接続のメール環境向けに新たに搭載し、フリーウェアを含む一般のメールソフトを利用するSMTP接続においても、同姓の宛先への誤送信や添付ファイルの暗号化忘れなどによる情報漏えいリスクを軽減します。また、メールサーバとの通信を暗号化する「SMTP over TLS（以下、SMTPS）」と「STARTTLS」に対応し、Microsoft Office 365などの暗号化が必須のメールサービスにおいても「SHieldMailChecker 誤送信防止」でメールセキュリティを強化できます。

当社は、機能強化した「SHieldMailChecker 誤送信防止」によって、今後もお客様の安心安全なメールのビジネス活用を支援していきます。

### 【「SHieldMailChecker 誤送信防止」の概要】

「SHieldMailChecker誤送信防止」は、パソコンにインストールするだけで、メールを送信する前に誤送信リスクを検出し、送信を止めることができるメール誤送信防止製品です。組織のセキュリティポリシーに基づき送信メールをチェックして、宛先の誤りやルール違反を警告します。

2009年の販売開始以降、富士通グループの標準ツールとしてグループ200社以上、約11万ユーザーでの利用をはじめ、官公庁や大手サービス業、製造業など様々な業界のお客様に利用されており、お客様のご要望に合わせた機能強化を継続的に行い、高い評価をいただいています。

#### <特長>

- 既存サーバ環境のまま、短期間で簡単に導入可能
- 共通ポリシーにより、効率的にセキュリティレベルを統制
- 「自動学習ホワイトリスト」（注1）により、過剰な警告を抑止し、宛先確認のマンネリ化を防止（特許登録済）

### 【SMTP接続でのメールセキュリティ機能強化内容】

1. 送信確認画面に送信相手の所属部署を表示
  - 送信確認画面には、送信相手の氏名や会社

名、メールアドレスが表示されますが、組織内の送信相手については、それらに加えて所属部署も表示されるため、多くの企業で課題となっている間違いやすい同姓の宛先への誤送信防止に役立ちます。

- ディレクトリサービス（Active DirectoryやLDAP）との連携により自動で所属情報が引き継がれるため、人事異動で所属が変わった場合も「SHieldMailChecker 誤送信防止」側でのメンテナンスは不要です。



<送信確認画面イメージ>  
 [図を拡大表示](#) (77 KB)

- 添付ファイルを自動でZIP暗号化
  - 添付ファイルを自動でZIP暗号化し、パスワード付きZIP圧縮ファイル形式に一括変換することで、情報漏えい対策を強化します。
  - パスワード通知については、差出人のみにメールで伝える機能と、差出人と全ての受信者に自動で伝える機能の2パターンから選択することができます。前者の場合、差出人が別の手段で受信者へパスワードを伝えるので、よりセキュリティを強固にします。
  - 添付ファイルはクライアントでZIP暗号化されるため、専用のサーバは不要です。
- 暗号化接続が必須のメールサービスに対応
  - 経路上の通信を暗号化してメール内容や認証情報の盗聴を防ぐ「SMTPS」と「STARTTLS」に対応し、Office 365など暗号化接続が必須のメールサービスにおいても「SHieldMailChecker 誤送信防止」を活用できます。

#### 【販売価格】

従来製品と同価格にてご提供します。

また、既存の保守契約ユーザーは、無償でバージョンアップが可能です。

ライセンスパック名	販売価格(税別)	年間保守料(税別)
10ライセンスパック	45,000円	12,000円
50ライセンスパック	180,000円	36,000円
100ライセンスパック	300,000円	45,000円
10,000ライセンスパック	20,000,000円	3,000,000円

【販売開始日】 2018年5月8日

【販売目標】 3年間で12万ユーザー

#### 【関連Webサイト】

- 「FUJITSU Security Solution SHieldMailChecker 誤送信防止」  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/network/security/network-security/data-leakage-prevention/shieldmail/>

#### 【注釈】

(注1)「自動学習ホワイトリスト」

ユーザー自身や管理者などが信頼できると判断したメールアドレスや電話番号などの一覧表のこと。

メール送信行動の統計的分析から、ホワイトリストを自動更新し、直近に送信許可した宛先をチェック対象外にするなど、過剰な警告を抑止することで慣れによるチェックの実効性低下を防止します。

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、53のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail：[ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

お客様お問い合わせ先

[株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ](#) 商品お問合せ窓口

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

プレスリリース

プレスリリース

関連リンク

お問い合わせ

2018年4月4日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

## 「第10回 ワークライフバランス大賞」優秀賞を受賞

～ 「SSL Diversity Way」を軸に働き方改革を推進 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、「SSL Diversity Way」を軸とした働き方改革の取り組みが評価され、この度、公益財団法人 日本生産性本部が主宰する「ワークライフバランス推進会議」の「第10回ワークライフバランス大賞」優秀賞を受賞しました。

「ワークライフバランス推進会議」では、組織を中心としたワーク・ライフ・バランスの取り組みから一歩前進させ、個人起点でのワーク・ライフ・バランスの実現を目指した新たな活動を推進しています。その活動の一環として、個人の取り組みを支援する組織を対象とした「ワークライフバランス大賞」の表彰制度が2007年に設けられ、社会的な普及・啓発が進められています。

当社は2003年より、キャリアデザイン制度による社員の能力開発や、子育て支援をはじめとしたワーク・ライフ・バランスの推進など社員一人ひとりが活躍できる体制作りに継続的に取り組んでいます。また、2016年には行動指針「SSL Diversity Way」を制定し、多様な人材の活躍を価値創造に繋げる「ダイバーシティ経営」を強力に推進しており、これまで「均等・両立推進企業表彰 神奈川労働局長賞」や「プラチナくるみん」など各賞を受賞しました。

近年は、在宅勤務の制度改正やテレワーク勤務地の開設といった時間や場所に捉われない働き方の他、有給休暇や男性の育児休業の取得促進などの取り組みでワーク・ライフ・バランスの浸透を図っています。その結果、生産性が向上し、会社が支給した体験アクティビティを楽しむなどの余暇に繋がっています。

あわせて、MOT（技術経営研修）

やLDP（Leader Development Program）女

性リーダー研修などの新規活動も取り入れ、「SSL Diversity Way」を軸にキャリア形成にも注力しています。さらに、障がい者雇用の促進に向けた特例子会社設立など、強力な「ダイバーシティ経営」の取り組みが評価され、「ワークライフバランス大賞」優秀賞の受賞に至りました。

当社は介護に関する制度についても、短時間勤務の取得期間の制限撤廃など、従業員の声をもとに見直しを行っています。今後も、「SSL Diversity Way」をスローガンに「ダイバーシティ経営」を一層強力に推進してまいります。

## 【受賞に至った主な取り組み】

## ■働き方改革の推進

## 1. 在宅勤務トライアルの推進

社員の家庭と仕事の両立支援、効率的でフレキシブルな働き方による生産性向上に向



[図を拡大表示](#) (119 KB)

け、対象となる社員の条件を撤廃し、全社員が在宅勤務（トライアル）を可能とした。  
※2018年4月、在宅勤務を含むテレワーク制度を正式導入。

## 2. テレワーク勤務地を開設しワークスタイル改革を推進

集中した個人ワークや富士通グループ社員がコラボレーションできる第3のスペース  
「F3rd Musashi-Kosugi」を開設。富士通グループ全社員が活用でき、場所に捉われない  
働き方を実現した。

その他、以下の取り組みを実施（一例）

- SSL-MOT（Management of Technology：技術経営）研修  
現場の技術を経営に活かすことを目的に、幹部職および次期幹部職が技術経営の知識  
を体系的に学び、実践する研修。
- LDP（Leader Development Program）女性リーダー研修  
多様な人材が活躍できる土壌作りを目的に、主に女性社員のマネジメント力向上を目  
指した研修。
- Reflection Cafe  
内省による企業文化の醸成を目的に、職場での出来事や経験を共有するイベント。
- 海外エンジニア交換プログラム
- 特例子会社「株式会社富士通SSLハーモニー」設立 など  
〈関連Webサイト〉  
創立45周年を迎えて <http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/45th.html>

### 【「ワークライフバランス大賞」公式Webサイト】

<http://www.jisedai.net/wlbaishou/2017/> 

### 【関連Webサイト】

- 富士通SSLが「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定されました（2018年2月21日  
発表）  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2018/0221.html>
- 優良な子育てサポート企業として「プラチナくるみん」を取得（2017年7月21日発表）  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2017/0721.html>
- 障がい者雇用の促進に向けた子会社を設立（2017年7月12日発表）  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2017/0712.html>
- 「女性活躍推進法」に基づく行動計画を策定（2016年3月31日発表）  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2016/0331.html>
- 多様な人材の活躍を価値創造につなげる「ダイバーシティ経営」を強力に推進  
（2016年3月8日発表）  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2016/0308.html>
- 『平成24年度「均等・両立推進企業表彰」 神奈川労働局長奨励賞』受賞について  
（2012年10月3日掲載）  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/topics/1003/>

### 【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展  
開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」  
「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、53のソリューション  
群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支  
援しています。

また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行っ

てきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : [ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2018年4月2日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

## 役員人事に関するお知らせ

当社は、4月1日付で下記のとおり役員の人事異動を行いましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 取締役・監査役

代表取締役社長 土肥 啓介（新任）

取締役 仙田 健（新任）

取締役（非常勤）砂田 敬之

取締役（非常勤）飯島 淳一

監査役（非常勤）山田 宏伸

#### 2. 執行役員

執行役員社長 土肥 啓介（新任）

執行役員常務 仙田 健（昇任）

執行役員 田村 浩

執行役員 芳根 明宏

執行役員 東條 正和

執行役員 都丸 良弘

#### 3. 退任

前 代表取締役社長・執行役員社長 林 恒雄は退任し、4月1日付で株式会社富士通アドバンストエンジニアリング 代表取締役社長に就任しました。

執行役員 唐渡直之は顧問に就任しました。

執行役員 石津昌弘は退任し、富士通株式会社サイバーセキュリティ事業戦略本部VPに着任しました。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：[ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

[利用条件](#) [個人情報保護ポリシー](#) [お問い合わせ](#) [サイトマップ](#)

Copyright 1996-2020 FUJITSU SOCIAL SCIENCE LABORATORY LIMITED

[富士通ホームへ](#) 

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2018年3月2日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

## 代表取締役人事について

今般、下記の代表取締役人事を内定しましたのでお知らせいたします。  
来る4月1日開催予定の臨時株主総会において正式に決定される予定です。

### 記

#### 1. 代表取締役

##### (1) 新任

代表取締役社長 土肥 啓介

(現 富士通株式会社 社会インフラビジネスグループ第四システム事業本部長)

##### (2) 退任

代表取締役社長 林 恒雄

(4月1日付で株式会社富士通アドバンストエンジニアリング 代表取締役社長に就任予定)

以上

### 報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

電話：044-739-1520(直通) / E-mail：[ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#)

[プレスリリース](#)

プレスリリース

[関連リンク](#)[お問い合わせ](#)

2018年2月21日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

## 富士通SSLが「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定されました

[株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー](#)（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：林恒雄、以下、富士通SSL）は、グループ会社である株式会社SSLパワードサービス（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：山田雅裕）と共に、社員の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に取り組む法人として、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2018（大規模法人部門） ホワイト500」に認定されました。

富士通SSLは2017年に創立45周年を迎えるにあたり、同年4月、「働く人が幸せな会社である」との経営理念の基、「富士通SSLグループ健康経営宣言」を採択し、代表取締役社長である林が健康経営責任者となり積極的に推進してまいりました。今後も、安全衛生教育や健康への意識を高める取り組みを進め、社員一人ひとりの自発的な健康づくりを促進していきます。

### 【富士通SSLグループ健康経営宣言】

富士通SSLグループは、『働く人が幸せな会社である』との経営理念の基、社員の健康を大切にしたい経営に取り組めます。社員の健康を何よりも最優先し、社員がイキイキとその能力を最大限に発揮することで、「確かな技術」と「安心品質」でお客様の成長と豊かな社会発展に貢献します。



### 【富士通SSLグループの取り組み】

- 健康増進施策「イキイキチャレンジ表彰」
- 受動喫煙対策（喫煙室撤廃）
- 体組成計測会（健康意識向上を目的とした保健指導）など

### 【「健康経営優良法人認定制度」について】

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を国(経済産業省)が顕彰する制度。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としている。


### 【関連リンク】

- 富士通SSL45周年特集ページ（「富士通SSLグループ健康経営宣言」をはじめとした取り

組み等)

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/45th.html>

- 経済産業省プレスリリース

<http://www.meti.go.jp/press/2017/02/20180220003/20180220003.html> 

#### 【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL : <http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、53のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。

また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

#### 【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

#### 報道関係者お問い合わせ先

**株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室**

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : [ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

プレスリリース

プレスリリース

関連リンク

お問い合わせ

2018年1月19日



公益社団法人能楽協会

富士通株式会社

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー

## 能楽協会主催「能楽フェスティバル2017-2020『第3回シンポジウム』」において 富士通のダイバーシティ・コミュニケーションツール「LiveTalk」を活用

～講演者の発話内容をリアルタイムに翻訳し、来場者のスマートデバイスに表示～



公益社団法人能楽協会 （注1）（以下、能楽協会）、富士通株式会社 （注2）（以下、富士通）、および株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリー（注3）（以下、富士通SSL）は、2018年1月26日（金曜日）に能楽協会主催で開催される「能楽フェスティバル2017-2020『第3回シンポジウム 世界と能楽 ～能楽の国際化を問う～』」（以下、第3回シンポジウム）において、19言語間（注4）のリアルタイムな翻訳が可能な富士通SSLのダイバーシティ・コミュニケーションツール「FUJITSU Software LiveTalk（ライブトーク）」（以下、LiveTalk）を活用し、今回は英訳で能楽（能と狂言）の魅力を共同で発信します。

「第3回シンポジウム」の開会式辞、基調講演、および「能楽の国際化」をテーマとした英作文コンクールの表彰式において、講演者の発話内容をリアルタイムに翻訳し、来場者自身のスマートデバイスに表示可能にする「LiveTalk」の「公開イベント字幕配信サービス」を活用します。これにより、来場者は講演者の日本語による発話内容を英語でもリアルタイムに理解することが可能なため、イベントをより楽しむことが可能になります。

能楽協会と富士通、富士通SSLは、本活動により、「第3回シンポジウム」へ来場する多くの外国人に対しても能楽の魅力を伝え、今後も世界中の人々から能楽への幅広い支持が得られることを目指して取り組んでいきます。

### 【背景】

650年以上の歴史を有する能楽は、2008年に「ユネスコ無形文化遺産」（注5）に登録されるなど世界的に評価されている日本の伝統芸能であり、豊かな情感が緩急のある演技および演奏によって表現され、舞台上でダイナミックに展開されるエンターテインメント性の高い芸術です。能楽協会では、国内、訪日外国人観光客および海外に向けた能楽のさらなる魅力発信を目指し、富士通グループと共同でICT技術と能楽とのコラボレーションを検討してきました。

能楽協会 と富士通 、富士通SSLは、この度、「第3回シンポジウム」において、発言内容のリアルタイム翻訳が可能な「LiveTalk」を活用し、言語の壁を越えた能楽の魅力を発信します。

### 【イベント概要】

名称：能楽フェスティバル2017-2020 「第3回シンポジウム 世界と能楽 ～能楽の国際化を問う～」

日時 : 2018年1月26日（金曜日）17:30開場 18:30開演  
会場 : 国立能楽堂（東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1）



図1. 能楽のイメージ写真

#### 【「第3回シンポジウム」における「LiveTalk」の活用について】

「LiveTalk」は、発話者の発言を音声認識し、即時に複数の端末にテキスト表示することで、聴覚障がい者を含め、その場にいる全員でのリアルタイムなコミュニケーションを可能にするソフトウェアです。2015年の販売開始以降、スマートデバイス対応や19言語間のリアルタイム翻訳対応など、実用性の高い機能を追加してきました。現在、学校での授業や企業における国内外での会議など、様々な用途で活用されています。

今回の「第3回シンポジウム」では、開会式辞、基調講演、および「能楽の国際化」をテーマとした英作文コンクールの表彰式において、来場者のスマートデバイスに講演者の発言内容をリアルタイムにテキスト表示させることができる「LiveTalk」のオプション機能「公開イベント字幕配信サービス」を活用します。来場者は、会場での配布資料に記載されているQRコードをスマートデバイスで読み込むだけで、「LiveTalk」でリアルタイムに英訳、テキスト変換された講演者の発言内容を自身のスマートデバイスで閲覧可能になります。

これにより、聴覚障がい者や外国人を含む多様な来場者に対して、講演内容や能楽の魅力を伝えることが可能になります。



図2. 「公開イベント字幕配信サービス」イメージ

#### 【今後の展望】

能楽協会と富士通グループは、今後、能楽の魅力を世界中の人々へ発信し、新たな日本文化の価値の創出に向けたICT技術の活用について、引き続き共同で検討していきます。

## 【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

## 【注釈】

- (注1) 公益社団法人能楽協会：本部 東京都新宿区、理事長 観世鏡之丞
- (注2) 富士通株式会社：本社 東京都港区、代表取締役社長 田中達也
- (注3) 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ：本社 神奈川県川崎市、代表取締役社長 林恒雄
- (注4) 19言語間：日本語、英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語、フランス語、スペイン語、アラビア語、ロシア語、ポルトガル語、ドイツ語、イタリア語、ポーランド語、オランダ語、デンマーク語、フィンランド語、スウェーデン語、ノルウェー語、カタロニア語に対応。
- (注5) ユネスコ無形文化遺産：2006年に発効された国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産保護条約に基づき、芸能や儀式、祭礼など保護されるべき無形文化遺産を定めたもの。

## 【関連リンク】

- 「第3回シンポジウム」ウェブサイト：  
<http://www.nohgaku.or.jp/playinginfo/info.html?id=2323> 
- 「LiveTalk」商品サイト：  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/software/applications/ud/livetalk/>
- 遠隔地での音声認識／自動翻訳／リアルタイム表示を実現し、働き方改革をサポートするダイバーシティ・コミュニケーションツール「LiveTalk」を販売開始（2017年11月6日富士通SSLプレスリリース）：  
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2017/1106.html>

以上

## 報道関係者お問い合わせ先

### 公益社団法人能楽協会

TEL:03-5925-3871

受付時間：10時～16時（土曜日・日曜日・祝日・当協会指定の休業日を除く）

### 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail：[ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com](mailto:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com)

## お客様お問い合わせ先

### 公益社団法人能楽協会

TEL:03-5925-3871

受付時間：10時～16時（土曜日・日曜日・祝日・当協会指定の休業日を除く）

### 富士通株式会社 政策渉外室

電話：03-6252-2180

### [株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ](#) [商品お問合せ窓口](#)

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

[ページの先頭へ](#) 

